

中出力増幅器  
T-AMP03HC  
取り扱い説明書

改 2014/02/26

## はじめに

T-AMP 03HCをお買い上げいただき有難うございました。

T-AMP 03HCは±40Vの最大出力電圧を出す中出力増幅器です。

正相及び逆相モードが選べるため前後機器との位相関係を心配することなく  
接続することが出来ます(御発注時指定)。

小型軽量のため取り扱いも簡単、気軽にお使いいただけます。

## 取り扱い方法

本器は、電源ケーブルを接続してスイッチ ON すると即動作します。

入出力間の位相は、どちらも選べますが、御指定が無い場合、工場出荷時は正相(入力信号と出力信号同位相)にセットしてあります。

御購入後、御自分で逆相(入力信号と出力信号が反転)にする場合は、先ず電源を切り、電源ケーブルを外してから、ケース左右 4 箇所のネジを外して上カバーをはずしてください。

正面パネ側からみて右側の増幅器基板(T-AMP03)の上にある J1 ショートプラグを 2 側から 1 側に挿直してください。指先にて行う細かい作業なので十分に注意して行ってください。

信号入力用ナイロンコネクタ(CN1 のケーブル側)の 3 側に挿してあるピンを 1 側(印がある)に差し替えてください。コネクタの構造を十分に観察し、無理がかからぬように丁寧に行ってください。

カバーを開けていた場合は、本通りに 4 本のネジにて固定し、電源ケーブルを接続して、電源スイッチを ON にします。正常であればスイッチ右横のランプが赤く点灯します。

信号線の接続は必ず電源スイッチを切って行ってください。特に出力は、入力信号によっては±40V 近くの出力量が出る場合があります。

半導体電子回路としては比較的高い電圧の電源を内蔵している関係上、発熱があります。本器の前後、上下の通風にはご注意ください。底板に通気用孔が開いています、塞がないようにしてください。ケースの上に書類等を置いての使用も避けてください。

特に御指示いただかない場合は正相(入力と出力が同じ位相)接続とし出荷します。

負荷抵抗は 1200Ω 以上でお使いください。これより低い抵抗値を負荷にする場合は、最大電流が 50mA<sub>pk</sub> 越えないよう、入力を御注意ください。本器には電流制限機能はありません。

電源を OFF する場合も必ず入力信号を絞るか接続を外してから OFF にしてください。

## 仕 様

入力チャンネル数	1ch(入出力とも BNC コネクタ)
入力抵抗	正相入力 60KΩ ±2% 逆相入力 10KΩ ±1%

最大許容入力電圧	±40Vpk
利 得	正相 17.5 倍(24.9dB)±4%以内 (標準) 逆相 20 倍(26dB)±4%以内 (標準)
最大出力電圧	±40Vpk±2%以内(無負荷時)
最大出力電流	約±50mApk
出力抵抗	50Ω±1%
負荷抵抗	1.2kΩ以上
小信号周波数特性	DC～約 160KHz(±3dB、出力 0.2Vpp、L=1.2kΩの時)
立上がり立下がり特性	約 6μ秒 -40V～40V(無負荷時)
電 源	AC100V±6%(50/60Hz)
ヒューズ	0.75A(通常溶断型)又は 05A(遅延溶断型)ガラス管ミニヒューズ
消費電流	約 130mA(AC100V 無信号のとき)
使用温度範囲	5℃～45℃
寸法	160(W)×70(H)×150(D)mm(コネクタ等突起部含まず)
質量	約 1Kg(電源他のケーブル含まず)

**付属品** AC ケーブル約 1.8m 1 本

### 故障した場合

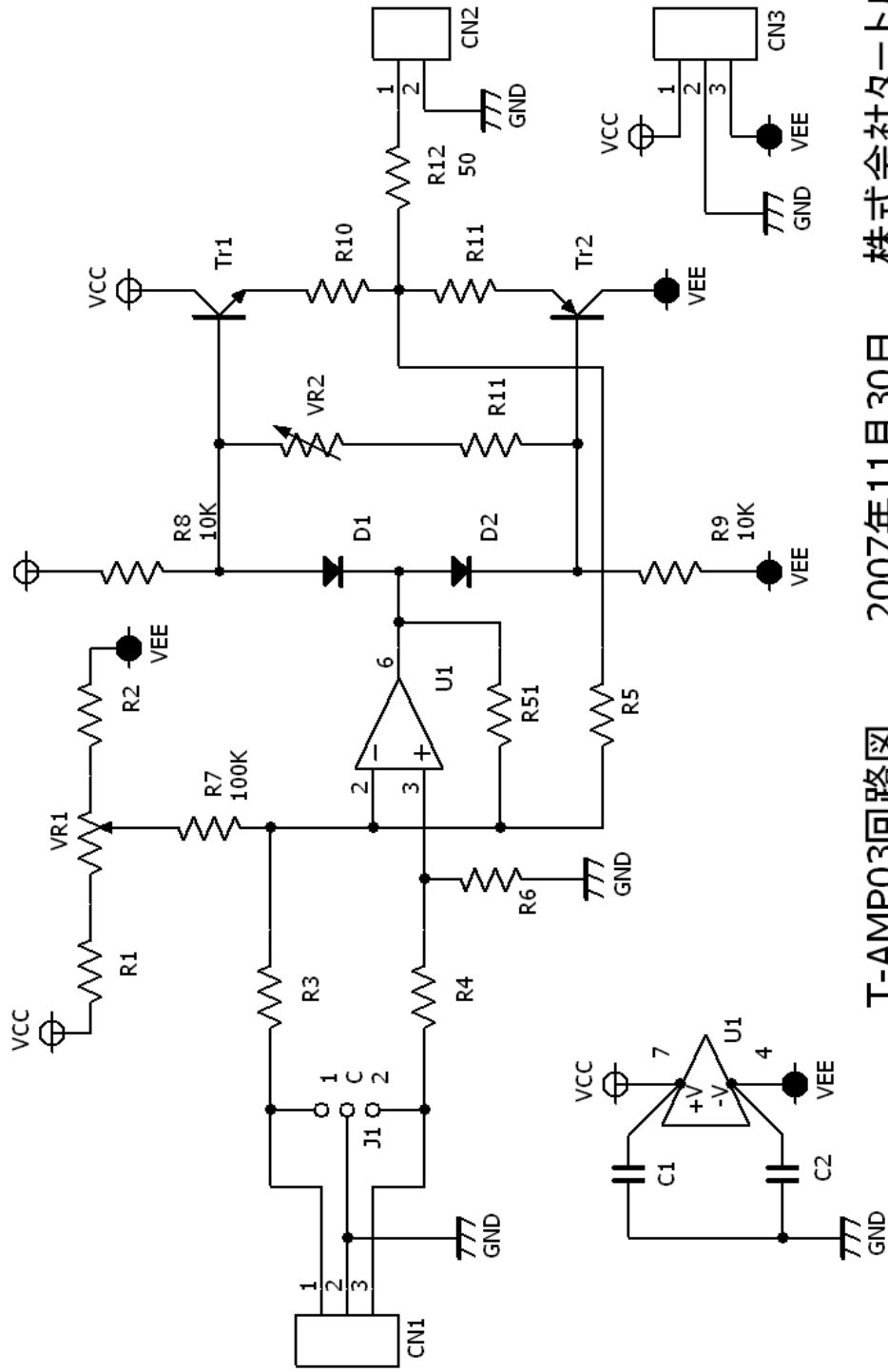
即、電源を切り、症状状況等をまとめて下記宛御連絡ください。

E メール [info@turtle-ind.co.jp](mailto:info@turtle-ind.co.jp)

FAX 029-843-0045

電話での御連絡は対応しきれませんので恐縮ですが、E メール又は FAX での連絡をお願い申し上げます。

# 全回路図



T-AMP03回路図 2007年11月30日 株式会社タートル工業